



花の苗を植える六郷高生

六郷高生、苗植え体験

美郷町 農業への理解深める

美郷町の六郷高校（高橋雄一校長）の1年生60人が、町内の農家を訪れて農作業を体験し、食や農業への理解を深めた。生徒は8班に分かれ、田植

えや野菜の種まきなどに取り組んだ。美郷町土崎の農事組合法人ニューファーム秋田の農地には生徒11人が訪問し、盆花として出荷するアスターの苗植えを体験。スタッフの助言を受けながら、土の上にかぶせたビニールシートに穴を開け、苗を一本ずつ丁寧に植えた。

佐藤千尋さん(15)は「農家の人がきれいな花を咲かせようと頑張っていることを知り、感謝したいと思った。調理師の仕事に興味があるので、食材を作る農業にも関心がある」と話した。

ニューファーム秋田の榎尾一貴さん(35)は「屋外の開放的な環境でできる仕事があると知ってもらい、農業が将来の仕事の選択肢の一つになってくれたらいい」と話した。

農業体験はキャリア教育の一環で20日に実施。町の基幹産業の農業に取り組むことで視野を広げてもらおうと2011年から実施している。

(佐藤将弥)